

2025 年度 事業報告

社会福祉法人 バプテスト心身障害児（者）を守る会
理事長 宮崎信義

2025 年度の事業開始に当たって、年間主題として「創立 50 周年（2026 年）に向けて～将来計画の策定（増床申請等）」、及び開園祭テーマとして「創立 50 周年（2026 年）の重症児（者）との共生社会の実現」を提案致しました。

2022 年から 2027 年の 6 年間の事業計画については、理事会・評議員会・管理会議でお諮りをして参りました。主のお導きにより、2026 年に創立 50 周年を迎えることを意識してお諮りしてきたものです。

①第Ⅰ期（2022 年～2023 年）：BCP 策定期（2024 年 3 月までの策定が義務化）

②第Ⅱ期（2024 年～2025 年）：実践期

- ・40 人を超える入園希望者の増加を踏まえて、現在の病棟スペース内で可能な増床を申請する。
- ・具体的な将来計画（増床と人材確保）の策定。

③第Ⅲ期（2026 年～2027 年）：将来計画策定を主眼とし、事業進捗状況の評価と事業の向上を目指すものです。創立 50 周年記念事業については事務局を中心として計画が進められています。

この 3 年間は世界で戦争が続いています。久山療育園も無関係ではありません。創立理念を進めることが、人命の尊重や重症心身障害児（者）との共生社会を証していく役割があります。

「真の平和（キリストの平和）を求めて」として、以下の所感を述べたいと思います。1) 1945 年 8 月の第二次世界大戦敗戦から 80 周年を迎えます。日本軍国主義が犯した大きな過ちで、アジア諸国に対して 1000 万にとも 2000 万人とも言われる膨大にして計量不可能な死者を生み出し、また自国民も 300 万人以上の死者（戦死、戦災）が生じたと言われます。2) 現状では、2022 年 2 月 24 日にロシアのウクライナ侵攻、そして 2023 年 10 月 7 日にはイスラム組織「ハマス」のイスラエル侵攻とイスラエル軍のガザ地区への侵攻で双方に多くの死者が出ています。久山療育園の働きも、平和を希求する大切さから始めたいと願うものです。

新型コロナウイルス感染症の脅威から、久山療育園も全国の医療機関と同じく感染対策を継続しています。感染対策と同時に医療福祉の実践に多くの経費を必要として、事業収支の問題もあります。日本においては 2020 年以降のパンデミック（世界的蔓延）の影響も確かにありましたが、諸教会やバプテストコロニー友の会（現・「ミットレーベンネットワーク」）の支援（献金及びボランティア活動）を頂き、更には熱い篤志家の方の献金に支えられてきたもので、全国の重症心身障害施設（自治体補助がある施設を除いて）でも例がない健全経営が維持されてきました。

2025 年の年報でも、創立理念にある通り「キリストの福音を土台として」諸事業が実践されましたが、その内実を報告したいと思います。暗い世相が報じられても、私たちは設立理念を想起致します。聖書に示されていますが、「わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。」（コリントの信徒への手紙二、4 章 8～9 節）との御言葉に支えられ、これからも進んで参りたいと願います。

創立理念を思い返すと、「重症心身障害児（者）と共に」在る活動は、「平和を作り出す」働きでもあると思います。私たちは、1976 年に久山療育園重症児者医療療育センターが創立され、2026 年で 50 周年を迎え創立 50 周年事業計画も企画検討されています。これからも「重症心身障害児（者）と共に」、ご家族や支援者、地域の方々と歩んで参ります。